

伊豆の国市観光戦略アクションプラン

令和7年度～令和9年度

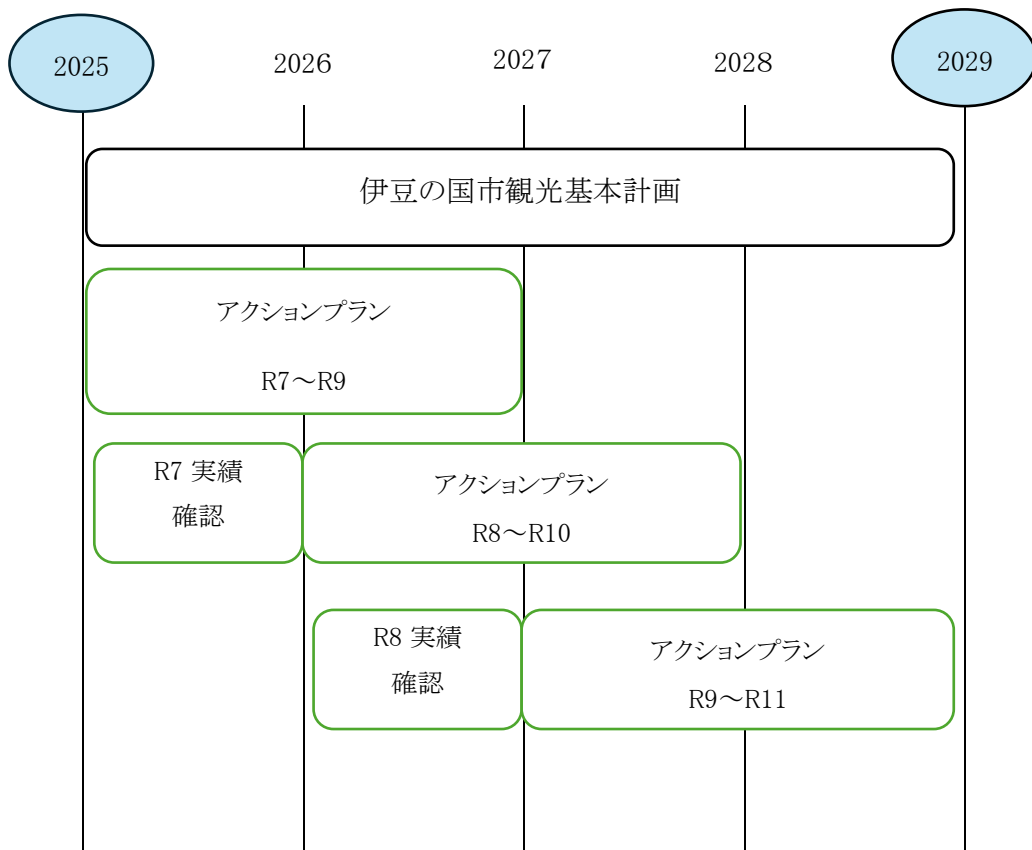
1. アクションプランについて

01 策定の目的

令和7年3月に策定した「伊豆の国市観光基本計画」の実効性を高め、計画的に推進するために、基本方針と重点戦略に掲載している事業について取りまとめ、目標の達成を目指します。各組織のプレーヤーが中心となってアクションプランを策定し、アクションプランはPDCAサイクルに基づき、進捗状況について毎年度評価・検証を実施します。

02 計画期間

社会情勢の変化などに対応するため、当該年度を含む3年間をアクションプランの対象期間とします。なお、PDCAサイクルに基づき毎年度、評価・検証を行ったうえ、実情に合わせて修正していきます。



03 KPI の設定

「伊豆の国市観光基本計画」において、掲載している7つの KPI について、事業の進捗を確認する指標とし、目標値を定めます。

指標	令和6年度実績	令和9年度目標値
観光交流客数	1,819,937 人	1,874,535 人
宿泊客数	577,298 人	594,616 人
観光消費額	157,000,000 円	161,710,000 円
観光消費単価	23,759 円	24,471 円
1日当たりの平均宿泊客数	1,581 人	1,629 人
観光客の平均滞在時間	36 時間	37 時間
平準化指数	59.7%	61.5%
Instagram のインプレッション数 ※1	272,400 回	280,572 回
体験型・着地型商品開発数	26 件	29 件
体験型・着地型商品販売数	0 件	3 件
伊豆半島観光交流客数	39,313,621 人	40,493,029 人
観光関連プロジェクト数 ※2	3	5

※1 観光協会が持っている Instagram のアカウント

※2 観光文化課が関係する連携会議の数

2. 基本方針と戦略

基本方針1 観光を通じて、まちの魅力を守り、育てる

伊豆の国市の豊かな魅力を、来訪者とともに楽しむことで、守り、育て、市民にとっても観光客にとっても魅力あるまちをつくります。

基本方針2 効果的なマーケティング

伊豆の国市に合ったマーケティングの方法を継続的に開発していくために、検証作業を繰り返しながら経験から得られる知識を蓄積していく専門の組織が必要とされます。観光協会を核にしつつ、旅館組合や商工会などの組織との連携によって新たな組織を構築していくことを検討していきます。

基本方針3 多様なプレイヤーの連携

まちづくりと観光の連携を進めるために、伊豆の国市の各組織・団体・プレイヤーといった各主体が相互協力し合うことが重要となっています。分野や組織を超えた多様な連携を行うことで観光とまちづくりの双方を活性化していきます。

3. 取組内容(重点戦略)

①市内の周遊化、滞在時間延長化、平準化

取組内容	1. 道の駅運営会議 2. 川の駅を含めた市内周遊の促進 3. 源氏山プロジェクト		
実施主体	市、観光協会、商工会、事業者		
期間	R7	R8	R9
	1	→	→
	2	→	→
	3	→	→
指標設定	1. 道の駅関係各所との連携を密にするため、年4回程度会議を行う。 2. 道の駅、川の駅との周遊を目的とした企画を行い、周遊を促す。 各種団体が作成するおすすめガイドを駅や観光案内所に置き市内の経済循環に役立てる。 3. 古奈と長岡を結ぶ源氏山を継続的に整備する。		

②事業継承・スタートアップ(新規事業開設)」の支援

取組内容	1. 事業継承の支援 2. スタートアップ(創業)の支援		
実施主体	市、商工会、伊豆長岡温泉エリアマネジメント、事業者		
期間	R7	R8	R9
	1	→	→
	2	→	→
指標設定	1. 事業継承セミナーを開催する。 2. 創業塾セミナーを開催し、創業を支援する。		

③観光業で働く人たちの環境整備

取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宿泊業の経営力基盤強化事業費補助金 2. 若手世代に対する労働環境、子育て環境の支援 3. 人手不足の解消に向けた企業説明会の開催 4. 旅館に向けてアンケート等を実施 		
実施主体	市、旅館組合、美しい伊豆創造センター、事業者		
期間	R7	R8	R9
	1	→	→
	2	→	→
	3	→	→
	4	→	→
指標設定	<ol style="list-style-type: none"> 1. 補助金交付対象件数 5件以上を目指す。 働きたくなる環境の整備 2. 賃金改正が適正に行われるよう努める。 3. 学生を対象とした首都圏での企業説明会に参加する。また、インターンシップの受け入れを行い、働き手の確保に努める。 4. 旅館の現状について把握し、問題の掘り起こしを行う。 		

④インバウンド事業の強化

取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファムトリップの実施 2. SNS を活用した情報発信 3. 商談会への参加 4. 美しい伊豆創造センターとの積極的な連携 5. 各輸送業者との連携 		
実施主体	市、観光協会、商工会、美しい伊豆創造センター		
期間	R7	R8	R9
	1	→	→
	2	→	→
	3	→	→
	4	→	→
	5	→	→
指標設定	<ol style="list-style-type: none"> 1. 伊豆市・沼津市と共同実施でファミトリップを1回実施する。 2. 外国人を対象とした SNS・HP 等を活用したコンテンツの作成を行う。 		

	<p>3. 市場調査や情報収集の場として商談会に参加する。</p> <p>4. 美しい伊豆創造センターのインバウンド会議に積極的に参加し、観光協会や市の職員など現場の職員を派遣し研修や商談をする。</p> <p>5. 駅やバス停に QR コードを設置するなど案内体制の整備を強化する。</p>
--	--

⑤ガイド組織育成と活動領域の拡大

取組内容	<p>1. 地域内連携の強化</p> <p>2. 活動領域の拡大</p> <p>3. 地域外連携</p>		
実施主体	市、ガイドの会、観光協会、旅館組合		
期間	R7	R8	R9
	1	→	→
	2	→	→
	3	→	→
指標設定	<p>1. ガイド育成講座(見学会を含む)の開催を年1回以上行う。 ジュニアガイドの育成をする。</p> <p>2. 観光協会や各旅館との連携を行う。 モデルコースの作成 ガイドの有料化</p> <p>3. 伊豆市ガイドの会やジオのガイドとの連携を行い、広域での活動を可能にする。</p>		

⑥おもてなし市民組織との連携強化

取組内容	1. お散歩市の開催 2. いずなかテーブルの開催 3. おもてなし花壇の整備		
実施主体	市、観光協会、伊豆長岡温泉エリアマネジメント、各種団体		
期間	R7	R8	R9
	1	→	→
	2	→	→
	3	→	→
指標設定	1. 毎月1回第2日曜日に開催する。 商工会や観光協会等と連携し、出店数は20店舗以上とする。 地域のボランティア(学生や企業等)を積極的に活用して運営を行う。 2. 毎週1回を目途に開催する。 温泉場の中に人が集まる場所を作り出し賑わいを創出する。 3. 花咲く伊豆の国推進協議会や地域の人達と連携し、花壇の整備やハンギングバスケットの設置を行い、年2回植え替えを行う。		

⑦観光協会の機能強化

取組内容	1. 観光協会の目指すべき姿と基本戦略の作成 2. マネジメント・ガバナンス体制の整理		
実施主体	市、観光協会		
期間	R7	R8	R9
	1	→	→
	2	→	→
指標設定	1. 戦略ビジョンの策定及び戦略ビジョンに基づく運営を行う。 誘客体制の強化を行う。 旅行業の取得を行う。 自己資金力の強化を行う。 2. 定款及び各種規則の再整備		

⑧市内連携のための「場」づくりの強化

取組内容	1. 連携に向けた「話し合いの場」づくり 2. 具体的な「実践の場」＝協働プロジェクトの提案・実行 3. 連携を持続させるためのハブ組織の構築		
実施主体	市、観光協会、伊豆長岡温泉エリアマネジメント、各種団体		
期間	R7	R8	R9
	1	→	→
	2	→	→
	3	→	→
指標設定	1. 交通手段と各拠点との連携を行う。 バス、タクシー又は自転車を使ったモデルコースの提案をする。 2. 大学生からのプロジェクト提案を受け、社会実験を含めた実行を行う。 古奈と長岡を結ぶ源氏山を継続的に整備する。 3. お散歩市等で、中学生、高校生、大学生を含めたボランティアの受け入れを行う。		

⑨伊豆半島全体での広域連携の強化

取組内容	1. 美しい伊豆創造センターとの連携 2. 伊豆市との連携 3. 各交通機関との連携		
実施主体	市、美しい伊豆創造センター、他市町、伊豆箱根鉄道、東海バスなど		
期間	R7	R8	R9
	1	→	→
	2	→	→
	3	→	→
指標設定	1. 美しい伊豆創造センターと連携し、各種データの利活用をする。 広域イベントなどの地域連携事業を行う。 伊豆はひとつと考え周辺市町との連携を行いながら観光 PR を年5回以上行う。 2. 伊豆市の DMO との積極的な連携を行う。 共同事業の実施(いずれもキャンペーン等) 3. 各交通機関との積極的な連携 伊豆箱根鉄道沿線市町でつくる協議会において首都圏での観光		

	PRを年2回以上行う。 JR 東日本の産直市等に参加し、PR活動を行う。 東海バスと連携し、新宿バスタから伊豆への誘客を行う。
--	---

⑩観光客に対する防災対策の推進

取組内容	1. 防災訓練の実施 2. BCPの作成		
実施主体	市、観光協会、温泉旅館協同組合		
期間	R7	R8	R9
	1	→	→
	2	→	→
指標設定	1. 市の総合防災訓練に合わせ、年1回情報伝達訓練を行う。 2. 旅館ごとにBCPをつくり、災害に備える。		

⑪行政内の各部署の連携強化

取組内容	1. 道の駅運営会議 2. 関係各課との協議		
実施主体	市		
期間	R7	R8	R9
	1	→	→
	2	→	→
指標設定	1. 商工課、農林課、都市整備課と道の駅関係各所との連携を密にするため、年4回程度会議を行う。 2. 関係各課との協議を適宜行う。 地域おこし協力隊に関する協議…企画課 自転車活用推進会議…都市計画課、建設課、生涯学習課、学校教育課、環境政策課、危機管理課、健康づくり課 農林課と連携し、特産品でもあるいちごやミカンの状況を把握する。		